

## 届出排出量・移動量の経年変化の概要について

事業者から届出のあった排出量及び移動量について、前年度までの集計結果※と比較した結果は以下のとおりです。

なお、平成13、14年度届出分については、届出事業所の対象化学物質の取扱量要件が年間5トン（平成15年度届出分から取扱量要件は年間1トンに引き下げ等）であり、平成22年度届出分から対象化学物質が354物質から462物質に変更され、医療業が対象業種に追加されたことに留意する必要があります。

※平成13年度から25年度データについては、平成27年3月の公表後に変更された届出事項を反映して集計した結果を用いています。

### (1) 届出状況

全対象化学物質のうちいずれか1物質以上について届出のあった全国の事業所総数は、平成26年度は35,573事業所となり、前年度と比べて486事業所減少しています。また、電子情報処理組織による届出の占める割合は増加傾向にあり、今年度も引き続き全届出数の半数を超えました。

表1. 届出方法別にみた届出状況（（）内は全届出に占める割合）

届出方法	年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
紙による届出		32,293	31,221	35,037	27,236	24,919	23,693	22,535	21,163	18,978	17,835	16,754	15,885	15,477	14,606
		(93%)	(91%)	(85%)	(67%)	(61%)	(57%)	(55%)	(53%)	(49%)	(47%)	(45%)	(43%)	(43%)	(41%)
磁気ディスクによる届出		2,061	2,021	2,517	1,563	1,267	1,193	1,018	804	681	587	549	426	374	308
		(5.9%)	(5.9%)	(6.1%)	(3.9%)	(3.1%)	(2.9%)	(2.5%)	(2.0%)	(1.8%)	(1.6%)	(1.5%)	(1.2%)	(1.0%)	(0.9%)
電子情報処理組織による届出		466	1,255	3,560	11,647	14,841	16,460	17,710	18,049	18,993	19,424	19,712	20,442	20,208	20,659
		(1.3%)	(3.6%)	(8.7%)	(29%)	(36%)	(40%)	(43%)	(45%)	(49%)	(51%)	(53%)	(56%)	(56%)	(58%)
合計		34,820	34,497	41,114	40,446	41,027	41,346	41,263	40,016	38,652	37,846	37,015	36,753	36,059	35,573

### (2) 届出排出量・移動量

平成26年度は、全対象化学物質の総届出排出量・移動量は前年度と比較して増加しました。また、化管法施行令改正の前後で継続して届出対象物質として指定された物質（以下「継続物質」という。）276物質のうち平成26年度分として届出があった263物質※を対象として集計した総届出排出量・移動量も345千トンと、前年度と比較して2.3%増加しました。なお、化管法施行令で追加された届出対象物質（以下、「追加対象化学物質」という。）の総届出排出量・移動量は38千トンでした。

また、継続物質の総排出量は143千トン（同比1.1%減少）、総移動量は202千トン（同比4.8%増加）となっています。

※平成26年度分として届出がなかった物質：CFC-13、エディフェンホス、エチルチオメトン、ホサロン、ハロン-2402、フェノチオカルブ、ピラクロホス、CFC-112、クロフェンチジン、ハロン-1211、酸化フェンブタズ、エンドスルファン、ペンタクロロフェノール

(注) 対象化学物質の見直しに伴うデータの扱いについて

第一種指定化学物質462物質のうち、化管法施行令の改正により第一種指定化学物質になった186物質を「追加対象化学物質」、政令改正の前後で継続して第一種指定化学物質として指定されている276物質を「継続物質」として扱うこととしました。また、政令改正前の第一種指定化学物質354物質のうち、政令改正により第一種指定化学物質から外れた73物質を「削除物質」としました。なお、継続物質のうち、政令改正前後で統合・分割された物質及び対象となる物質の範囲が拡大・縮小された物質に関する政令改正前後の排出量等の継続性の考え方は、以下のとおりとしました。

- ①政令改正後に統合された対象化学物質（「クロロアニリン」及び「フェニレンジアミン」）の排出量等は、対応する複数の政令改正前の対象化学物質の排出量等を合計した数値と完全に対応するものとして扱う。
- ②政令改正後に分割された対象化学物質（「鉛」、「鉛化合物」）の排出量等を合計した数値は、政令改正前の対象化学物質（「鉛及びその化合物」）の排出量等と完全に対応するものとして扱う。ただし、政令改正後の対象化学物質の「鉛」または「鉛化合物」の排出量等と政令改正前の対象化学物質の「鉛及びその化合物」の排出量等を比較する際は、対象化学物質の範囲が異なることを明示する。
- ③政令改正後に対象範囲が拡大または縮小された対象化学物質（「アクリル酸及びその水溶性塩」、「トリレンジイソシアネート」、「トルエンジアミン」、「バナジウム化合物」、「ほう素化合物」）の排出量等は、対応する政令改正前の対象化学物質の排出量等と同一とみなす。
- ④政令改正後に対象範囲が拡大されて統合された対象化学物質（「ジクロロベンゼン」及び「トルイジン」）の排出量等は、対応する複数の政令改正前の対象化学物質の排出量等を合計した数値と同一とみなす。

図 1. 届出排出量・移動量の経年変化

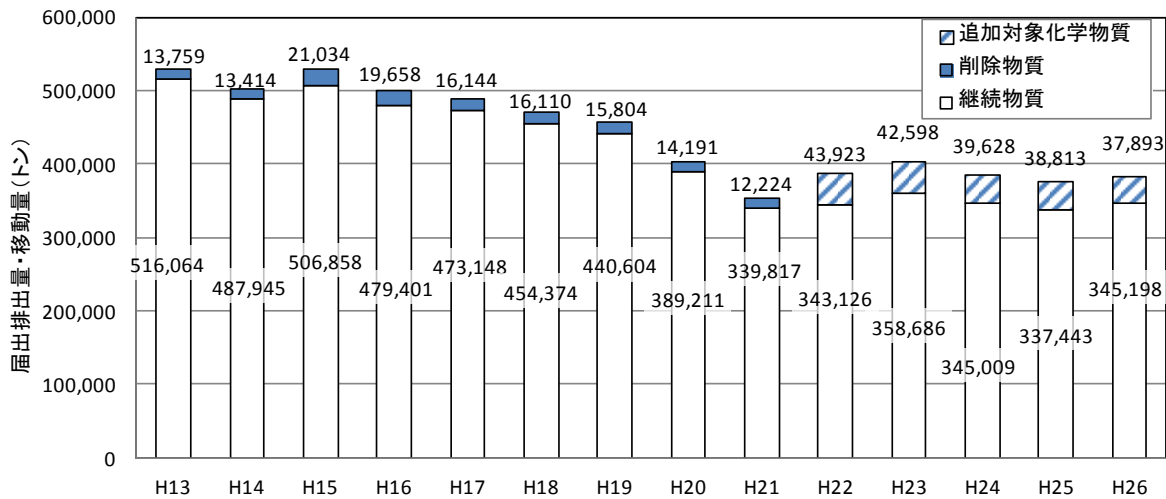


表 2. 届出排出量・移動量の推移（継続物質）

排出先		届出排出量・移動量の経年変化（継続物質）													
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
排出量 (トン/年)	大気	277,022 (279,876)	253,365 (256,143)	249,240 (251,915)	232,325 (234,562)	225,377 (227,405)	216,694 (218,624)	209,740 (211,552)	179,142 (180,829)	154,769 (156,176)	147,918 (164,759)	141,901 (158,009)	132,156 (147,307)	129,637 (145,216)	128,387 (143,895)
	公共用水域	10,505 (12,704)	10,503 (12,148)	11,489 (12,647)	10,186 (11,243)	9,841 (10,749)	9,433 (10,131)	9,305 (9,932)	8,904 (9,507)	8,091 (8,616)	8,309 (8,776)	8,172 (8,621)	7,440 (7,768)	7,257 (7,461)	7,069 (7,257)
	土壌	49 (234)	44 (299)	7.0 (250)	4.0 (252)	4.0 (234)	27 (166)	110 (344)	153 (381)	128 (463)	106 (116)	154 (154)	1.7 (1.7)	5.4 (5.4)	1.4 (1.5)
	埋立	20,451 (20,451)	22,429 (22,429)	27,290 (27,290)	24,511 (24,511)	22,175 (22,175)	17,906 (17,906)	14,201 (14,201)	10,897 (10,897)	11,560 (11,560)	8,419 (8,428)	8,584 (8,602)	7,845 (7,846)	7,976 (7,976)	7,868 (7,868)
	合計	308,027 (313,265)	286,340 (291,019)	288,027 (292,102)	267,026 (270,568)	257,396 (260,564)	244,060 (246,826)	233,355 (236,028)	199,097 (201,614)	174,547 (176,814)	164,752 (182,078)	158,810 (175,385)	147,443 (162,922)	144,875 (160,659)	143,326 (159,021)
移動量 (トン/年)	廃棄物	204,486 (212,585)	198,969 (207,362)	216,146 (232,691)	209,914 (225,644)	213,575 (226,199)	208,449 (221,492)	205,811 (218,636)	188,911 (200,344)	164,096 (173,821)	177,170 (203,291)	198,796 (224,465)	196,546 (220,335)	191,479 (214,293)	200,964 (222,921)
	下水道	3,552 (3,973)	2,636 (2,977)	2,686 (3,100)	2,460 (2,847)	2,176 (2,529)	1,866 (2,166)	1,438 (1,744)	1,203 (1,444)	1,173 (1,406)	1,204 (1,679)	1,079 (1,434)	1,020 (1,380)	1,090 (1,304)	907 (1,149)
	合計	208,037 (216,559)	201,605 (210,339)	218,832 (235,791)	212,375 (228,491)	215,752 (228,728)	210,314 (223,658)	207,249 (220,380)	190,114 (201,788)	165,270 (175,227)	178,374 (204,970)	199,875 (225,899)	197,566 (221,715)	192,568 (215,597)	201,871 (224,069)
届出排出量・移動量合計 (トン/年)		516,064 (529,824)	487,945 (501,359)	506,858 (527,893)	479,401 (499,059)	473,148 (489,292)	454,374 (470,484)	440,604 (456,408)	389,211 (403,402)	339,817 (352,041)	343,126 (387,049)	358,686 (401,284)	345,009 (384,637)	337,443 (376,256)	345,198 (383,090)

※表中（ ）内は、追加対象化学物質・削除物質を含めた全ての対象化学物質の合計値（トン/年）

### (3) 化学物質の種類別の届出排出量・移動量

継続物質 276 物質のうち届出があった 263 物質を対象として集計した化学物質の種類別の届出排出量・移動量は以下のとおりです。

#### ①届出排出量・移動量の上位 10 物質

届出排出量・移動量の上位 10 物質は表 3 のとおりです。上位 10 物質の構成は前年度と同じですが、4 番目のクロム及び三価クロム化合物から 7 番目の塩化メチレンまでの順位が入れ替わっています。

表3. 平成 26 年度届出排出量・移動量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		届出排出量・移動量合計(トン/年)													
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	300	トルエン	178,025	169,583	170,153	158,685	161,098	156,553	151,967	128,896	113,497	106,534	99,997	92,606	89,599	88,216
2	412	マンガン及びその化合物	23,953	29,265	32,581	32,127	32,101	31,939	31,458	32,297	26,354	30,244	49,944	53,707	49,971	53,776
3	80	キシレン	65,339	59,419	61,379	59,629	57,731	56,943	55,308	48,869	41,661	40,148	40,545	37,865	36,123	35,809
4	87	クロム及び三価クロム化合物	13,541	12,853	14,635	13,846	12,159	12,477	12,387	13,379	11,002	13,126	15,917	15,616	16,814	19,124
5	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	10,425	10,202	10,622	8,070	6,755	5,946	6,197	7,743	7,171	8,046	10,799	11,138	12,254	18,284
6	53	エチルベンゼン	12,555	12,840	16,618	17,186	19,052	19,858	20,854	19,103	17,179	17,928	18,413	17,664	17,436	17,959
7	186	塩化メチレン	37,537	33,725	34,250	32,115	33,304	30,410	28,347	25,437	21,952	22,064	20,780	18,858	17,299	16,735
8	232	N、N-ジメチルホルムアミド	16,298	13,425	15,512	15,331	14,636	12,927	13,647	12,341	10,058	10,064	9,695	9,416	9,304	8,838
9	305	鉛化合物	17,560	16,751	17,626	16,644	16,473	17,239	13,826	8,709	8,120	7,605	8,988	9,179	8,207	8,399
10	1	亜鉛の水溶性化合物	7,581	6,242	7,463	5,954	5,845	5,925	5,944	6,348	5,404	5,101	4,663	4,109	5,720	5,859
上位10物質の合計			382,813	364,305	380,839	359,588	359,154	350,217	339,935	303,122	262,397	260,859	279,742	270,157	262,726	272,999
合計			516,064	487,945	506,858	479,401	473,148	454,374	440,604	389,211	339,817	343,126	358,686	345,009	337,443	345,198

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち届出排出量・移動量の上位 2 物質：ノルマルヘキサン：14,022 トン/年、塩化第二鉄：8,594 トン/年

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

#### ②届出排出量の上位 10 物質

届出排出量の上位 10 物質は表 4 のとおりです。上位 10 物質の構成は前年度と同じですが、5 番目の鉛化合物、6 番目の二硫化炭素の順位が入れ替わっています。

表4. 平成 26 年度届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		排出量合計(トン/年)													
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	300	トルエン	132,569	122,915	119,285	109,900	106,459	103,004	99,196	83,085	71,127	63,588	58,662	54,706	54,324	54,473
2	80	キシレン	52,392	47,521	48,547	46,615	44,867	44,252	43,355	38,323	32,543	31,433	31,939	30,078	28,383	28,403
3	53	エチルベンゼン	9,159	9,982	12,852	13,932	15,267	16,056	16,527	15,380	13,771	14,578	14,790	14,130	14,067	14,600
4	186	塩化メチレン	27,571	25,746	24,902	22,420	22,691	20,123	18,769	15,653	13,532	14,218	13,616	11,637	10,990	10,501
5	305	鉛化合物	9,253	9,556	9,963	8,575	8,267	8,974	6,548	2,946	3,647	3,679	3,844	3,526	3,725	4,059
6	318	二硫化炭素	7,078	4,997	5,056	4,942	4,259	4,360	4,513	4,086	3,959	4,203	4,420	3,914	3,965	3,777
7	412	マンガン及びその化合物	4,792	4,504	8,724	8,590	7,071	6,801	6,240	6,678	6,342	2,879	3,154	3,253	3,170	2,846
8	281	トリクロロエチレン	6,346	6,045	5,782	5,006	5,168	4,868	4,633	3,824	3,430	3,485	3,245	3,103	3,036	2,833
9	405	ほう素化合物	2,258	2,504	3,039	3,026	3,156	3,214	3,218	3,106	3,032	3,213	3,055	2,651	2,600	2,497
10	232	N、N-ジメチルホルムアミド	6,341	5,229	4,765	4,345	4,333	4,553	4,626	3,557	2,578	2,191	2,135	2,297	2,537	2,300
上位10物質の合計			257,759	238,998	242,914	227,352	221,536	216,206	207,625	176,639	153,960	143,467	138,862	129,296	126,798	126,287
合計			308,027	286,340	288,027	267,026	257,396	244,060	233,355	199,097	174,547	164,752	158,810	147,443	144,875	143,326

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち届出排出量の上位 2 物質：ノルマルヘキサン：10,294 トン/年、1,2,4-トリメチルベンゼン：2,657 トン/年

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

※ 「ほう素化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「ほう素及びその化合物」のデータを示した。

## 1) 大気への届出排出量の上位 10 物質

大気への届出排出量の上位 10 物質は表 5 のとおりです。上位 10 物質の順位は前年度と同じとなっています。

表 5. 平成 26 年度大気への届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		大気への届出排出量(トン/年)													
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	300	トルエン	132,440	122,796	119,189	109,813	106,381	102,944	99,094	83,045	71,093	63,541	58,614	54,669	54,285	54,426
2	80	キシレン	52,356	47,492	48,509	46,568	44,830	44,199	43,317	38,311	32,534	31,425	31,931	30,073	28,377	28,397
3	53	エチルベンゼン	9,157	9,980	12,848	13,931	15,265	16,045	16,519	15,379	13,768	14,575	14,788	14,129	14,067	14,599
4	186	塩化メチレン	27,550	25,724	24,887	22,405	22,680	20,112	18,760	15,645	13,526	14,212	13,609	11,633	10,985	10,496
5	318	二酸化炭素	6,938	4,905	4,953	4,843	4,181	4,273	4,409	4,000	3,882	4,138	4,334	3,801	3,898	3,707
6	281	トリクロロエチレン	6,341	6,042	5,777	5,003	5,165	4,866	4,631	3,822	3,428	3,483	3,243	3,100	3,034	2,830
7	232	N,N-ジメチルホルムアミド	6,040	4,614	3,932	4,039	4,023	4,339	4,433	3,434	2,509	2,088	2,005	2,217	2,449	2,190
8	240	スチレン	4,594	4,005	3,803	3,432	3,348	2,919	2,991	2,397	2,114	2,307	2,288	2,164	2,254	2,107
9	128	塩化メチル	4,403	3,867	3,766	3,541	2,270	1,987	1,834	1,639	1,686	1,639	1,454	1,573	1,551	1,486
10	297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,115	1,104	1,339	1,610	1,699	1,575	1,540	1,281	1,105	1,234	1,064	1,025	1,025	1,008
		上位10物質の合計	250,932	230,530	229,003	215,185	209,843	203,259	197,528	168,953	145,644	138,641	133,330	124,384	121,925	121,248
		合計	277,022	253,365	249,240	232,325	225,377	216,694	209,740	179,142	154,769	147,918	141,901	132,156	129,637	128,387

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち大気への排出量の上位 3 物質：ノルマルヘキサン：10,292 トン/年、1,2,4-トリメチルベンゼン：2,657 トン/年、1-ブロモプロパン：1,239 トン/年

## 2) 公共用水域への届出排出量の上位 10 物質

公共用水域への届出排出量の上位 10 物質は表 6 のとおりです。上位 10 物質の構成は前年度と同じですが、5 番目の銅水溶性塩（錯塩を除く）と 7 番目のチオ尿素の順位が入れ替わっています。

表 6. 平成 26 年度公共用水域への届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		公共用水域への届出排出量(トン/年)													
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	405	ほう素化合物	2,130	2,392	2,886	2,874	3,012	3,074	3,103	2,992	2,947	3,074	2,950	2,552	2,520	2,417
2	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	3,258	2,983	3,011	2,743	2,640	2,402	2,475	2,464	2,273	2,226	2,265	1,980	1,937	1,930
3	412	マンガン及びその化合物	1,039	1,085	1,052	1,011	817	875	835	828	706	737	773	772	735	659
4	1	亜鉛の水溶性化合物	652	580	655	650	616	594	598	601	605	613	591	607	597	619
5	272	銅水溶性塩(錯塩を除く)	123	111	126	112	111	102	115	117	91	115	113	101	117	136
6	76	ε-カプロラクタム	200	205	179	158	235	138	173	265	144	136	134	144	136	125
7	245	チオ尿素	115	180	242	186	155	155	154	171	95	153	51	151	143	114
8	232	N,N-ジメチルホルムアミド	301	614	833	306	310	214	193	123	69	102	131	80	88	110
9	407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	226	220	240	209	185	185	161	134	102	119	104	100	87	99
10	453	モリブデン及びその化合物	79	91	82	76	83	78	60	58	63	63	73	97	72	89
		上位10物質の合計	8,122	8,460	9,306	8,325	8,164	7,817	7,867	7,755	7,093	7,339	7,185	6,584	6,433	6,297
		合計	10,505	10,503	11,489	10,186	9,841	9,433	9,305	8,904	8,091	8,309	8,172	7,440	7,257	7,069

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち公共用水域への届出排出量が最も多い物質：N,N-ジメチルアセトアミド：41 トン/年

※ 「ほう素化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「ほう素及びその化合物」のデータを示した。

### 3) 事業所内の土壌への届出排出量の上位 10 物質

土壌への届出排出量の上位 10 物質は表 7 のとおりです。前年度 1 番目の銅水溶性塩(錯塩を除く)、5 番目のアンチモン及びその化合物、7 番目のヘキサメチレントラミン、10 番目のモリブデン及びその化合物に替わって、6 番目に 1,3,5-トリメチルベンゼン、8 番目にエチルベンゼン、9 番目にクロム及び三価クロム化合物、10 番目に塩化メチレンが入っています。また、それ以外の物質は順位が入れ替わっています。

表 7. 平成 26 年度事業所内の土壌への届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		事業所内の土壌への届出排出量(トン/年)													
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	332	砒素及びその無機化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.64	0.83	0.77	0.89	0.92
2	260	クロロタロニル	0	0	0.001	0	0.099	0.16	0.16	0.15	0.085	0.24	0.25	0.22	0.17	0.15
3	412	マンガン及びその化合物	0.024	0.36	0.008	0.43	0.021	0.002	46	150	97	78	120	0.14	0.12	0.098
4	300	トルエン	0.18	0.10	0.40	0.75	0.22	2.0	47	0.006	0.020	2.2	4.5	0.43	0.028	0.084
5	80	キシレン	0.37	0.13	0.33	0.53	0.046	14	9.6	0.057	0.074	0.097	0.074	0.050	0.050	0.076
6	297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0	0	0.011	0.001	0	0.013	0	0	0	0	0.002	0	0.001	0.061
7	355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.042	0.065	0.089	0.020	0.015	0.0004	0.002	0.018	0.019	0.026	0.026	0.025	0.019	0.022
8	53	エチルベンゼン	0.10	0.028	0.071	0.12	0.082	9.4	6.4	0.010	0.017	0.011	0.012	0.011	0.010	0.018
9	87	クロム及び三価クロム化合物	0.069	0.006	0.15	0.22	0.12	0.11	0.26	0.79	28	23	27	0.031	0.004	0.005
10	186	塩化メチレン	0.039	0.055	0.058	0.015	0.009	0.035	0.027	0.042	0.019	0.023	0	0.004	0.005	0.005
		上位10物質の合計	0.82	0.75	1.1	2.1	0.61	26	109	151	125	105	153	1.7	1.3	1.4
		合計	49	44	7.5	4.1	3.5	27	110	153	128	106	154	1.7	5.4	1.4

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち土壌への届出排出量の上位 3 物質：ノルマルヘキサン：0.023 トン/年、1,2,4-トリメチルベンゼン：0.022 トン/年

### 4) 事業所内の埋立処分の届出排出量の上位 10 物質

埋立処分の届出排出量の上位 10 物質は表 8 のとおりです。前年度 5 番目の亜鉛の水溶性化合物に替わって 10 番目にほう素化合物が入っています。また、それ以外の物質は前年度と同じですが、5 番目のクロム及び三価クロム化合物から 9 番目のセレン及びその化合物までの順位が入れ替わっています。

表 8. 平成 26 年度事業所内の埋立処分の届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		事業所内の埋立処分の届出排出量(トン/年)													
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	305	鉛化合物	9,165	9,484	9,885	8,496	8,217	8,931	6,506	2,913	3,619	3,654	3,820	3,507	3,704	4,036
2	412	マンガン及びその化合物	3,716	3,387	7,633	7,545	6,214	5,887	5,319	5,656	5,500	2,018	2,215	2,444	2,379	2,130
3	332	砒素及びその無機化合物	5,983	7,148	6,468	6,144	5,782	1,295	1,000	850	1,004	1,124	830	789	963	1,039
4	31	アンチモン及びその化合物	1.3	1,201	1,011	1,064	1,128	1,256	889	311	316	307	308	309	333	333
5	87	クロム及び三価クロム化合物	593	489	370	448	248	54	44	20	121	200	241	193	158	133
6	309	ニッケル化合物	136	110	121	159	142	39	29	27	302	428	275	173	95	86
7	75	カドミウム及びその化合物	155	119	146	119	117	85	72	83	88	121	98	76	58	66
8	272	銅水溶性塩(錯塩を除く)	27	0.24	16	18	23	42	31	22	23	63	32	35	40	20
9	242	セレン及びその化合物	32	22	18	21	24	16	17	16	9.7	13	14	10	8.4	10
10	405	ほう素化合物	2.9	1.5	6.3	5.4	2.0	3.7	5.0	5.1	4.7	3.5	3.7	4.2	7.1	8.1
		上位10物質の合計	19,810	21,963	25,673	24,020	21,897	17,609	13,912	9,903	10,986	7,932	7,837	7,539	7,746	7,859
		合計	20,451	22,429	27,290	24,511	22,175	17,906	14,201	10,897	11,560	8,419	8,584	7,845	7,976	7,868

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち埋立処分として届け出された物質：デカン酸：0.013 トン/年。

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

※ 「ほう素化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「ほう素及びその化合物」のデータを示した。

### ③届出移動量の上位 10 物質

届出移動量の上位 10 物質は表 9 のとおりです。上位 10 物質の順位は前年度と同じとなっています。

表 9. 平成 26 年度届出移動量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		移動量合計(トン/年)													
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	412	マンガン及びその化合物	19,161	24,761	23,857	23,538	25,031	25,139	25,218	25,619	20,012	27,365	46,790	50,454	46,801	50,930
2	300	トルエン	45,456	46,668	50,868	48,785	54,639	53,549	52,771	45,810	42,370	42,946	41,335	37,899	35,276	33,743
3	87	クロム及び三価クロム化合物	12,868	12,309	14,212	13,353	11,868	12,379	12,301	13,322	10,825	12,870	15,615	15,386	16,611	18,949
4	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	6,456	6,707	7,411	4,938	3,999	3,440	3,612	5,152	4,813	5,714	8,436	9,072	10,264	16,307
5	80	キシレン	12,947	11,897	12,832	13,013	12,864	12,691	11,953	10,545	9,119	8,715	8,607	7,787	7,740	7,406
6	232	N,N-ジメチルホルムアミド	9,957	8,196	10,747	10,986	10,303	8,373	9,022	8,784	7,480	7,873	7,560	7,118	6,767	6,537
7	186	塩化メチレン	9,966	7,979	9,348	9,695	10,613	10,287	9,578	9,784	8,420	7,846	7,164	7,221	6,308	6,234
8	1	亜鉛の水溶性化合物	6,880	5,557	5,208	5,098	4,946	5,025	5,043	4,744	4,218	4,143	3,314	3,186	4,889	5,228
9	305	鉛化合物	8,308	7,195	7,663	8,069	8,206	8,265	7,278	5,764	4,474	3,925	5,144	5,653	4,482	4,341
10	53	エチルベンゼン	3,396	2,858	3,767	3,253	3,785	3,803	4,327	3,723	3,408	3,350	3,623	3,534	3,368	3,360
		上位10物質の合計	135,395	134,127	145,914	140,729	146,254	142,950	141,103	133,246	115,138	124,747	147,586	147,310	142,507	153,034
		合計	208,037	201,605	218,832	212,375	215,752	210,314	207,249	190,114	165,270	178,374	199,875	197,566	192,568	201,871

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち届出移動量の上位 3 物質：塩化第二鉄：8,593 トン/年、ノルマルヘキサン：3,727 トン/年、N,N-ジメチルアセトアミド：3,432 トン/年

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

### 1) 事業所外への廃棄物としての届出移動量の上位 10 物質

廃棄物としての届出移動量の上位 10 物質は表 10 のとおりです。上位 10 物質の順位は前年度と同じとなっています。

表 10. 平成 26 年度事業所外への廃棄物としての届出移動量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		事業所外への廃棄物としての届出移動量(トン/年)													
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	412	マンガン及びその化合物	19,153	24,755	23,849	23,530	25,024	25,133	25,213	25,614	20,008	27,361	46,787	50,452	46,796	50,924
2	300	トルエン	45,391	46,628	50,829	48,744	54,584	53,506	52,737	45,759	42,340	42,918	41,310	37,879	35,251	33,719
3	87	クロム及び三価クロム化合物	12,857	12,278	14,167	13,333	11,854	12,367	12,288	13,314	10,819	12,868	15,613	15,385	16,610	18,947
4	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	6,363	6,600	7,276	4,821	3,918	3,363	3,554	5,093	4,773	5,674	8,400	9,038	10,233	16,277
5	80	キシレン	12,894	11,850	12,807	12,992	12,842	12,668	11,939	10,530	9,108	8,703	8,596	7,779	7,731	7,396
6	232	N,N-ジメチルホルムアミド	9,003	7,248	9,703	9,941	9,333	7,705	8,681	8,535	7,226	7,659	7,354	6,938	6,565	6,497
7	186	塩化メチレン	9,965	7,971	9,337	9,691	10,611	10,287	9,576	9,783	8,419	7,845	7,163	7,220	6,308	6,234
8	1	亜鉛の水溶性化合物	6,857	5,539	5,181	5,076	4,920	5,005	5,021	4,726	4,200	4,125	3,298	3,174	4,876	5,214
9	305	鉛化合物	8,307	7,195	7,663	8,069	8,205	8,265	7,278	5,763	4,473	3,925	5,144	5,653	4,482	4,341
10	53	エチルベンゼン	3,370	2,856	3,760	3,250	3,782	3,800	4,326	3,719	3,405	3,346	3,620	3,531	3,365	3,357
		上位10物質の合計	134,161	132,920	144,571	139,445	145,074	142,098	140,613	132,835	114,771	124,425	147,284	147,048	142,216	152,905
		合計	204,486	198,969	216,146	209,914	213,575	208,449	205,811	188,911	164,096	177,170	198,796	196,546	191,479	200,964

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち廃棄物としての届出移動量の上位 3 物質：塩化第二鉄：8,592 トン/年、ノルマルヘキサン：3,722 トン/年、N,N-ジメチルアセトアミド：3,399 トン/年

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

2) 下水道への届出移動量の上位 10 物質

下水道への届出移動量の上位 10 物質は表 11 のとおりです。上位 10 物質の構成は前年度と同じですが、1 番目のポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る）から 9 番目のアセトニトリルまでの順位がそれぞれ入れ替わっています。

表 11. 平成 26 年度下水道への届出移動量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		事業所外への下水道としての届出移動量(トン/年)													
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	168	149	150	145	132	145	142	118	111	157	132	138	159	150
2	411	ホルムアルデヒド	114	93	105	102	88	122	111	107	97	80	72	92	74	86
3	405	ほう素化合物	18	22	28	30.7	37	31	24	40	38	61	62	57	54	59
4	68	酸化プロピレン	28	92	84	92	86	83	83	70	69	52	54	51	55	52
5	20	2-アミノエタノール	256	105	133	138	169	186	154	94	91	87	61	44	47	51
6	30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	116	34	22	18	17	12	16	19	22	33	29	33	38	50
7	232	N,N-ジメチルホルムアミド	955	948	1,044	1,045	971	668	341	249	254	213	205	180	202	41
8	56	エチレンオキシド	51	52	54	45	38	36	48	41	75	49	39	38	36	41
9	13	アセトニトリル	10	17	24	6.7	13	27	32	35	38	35	59	65	77	40
10	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	93	106	135	116	80	76	58	60	40	40	37	34	32	30
上位10物質の合計			1,807	1,617	1,779	1,738	1,633	1,386	1,009	833	835	806	750	732	776	601
合計			3,552	2,636	2,686	2,460	2,176	1,866	1,438	1,203	1,173	1,204	1,079	1,020	1,090	907

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち下水道への届出移動量の上位 3 物質：ノルマルドデシルアルコール：48 トン/年、トリエチルアミン：39 トン/年、2-エチルヘキサン酸：37 トン/年

※ 「ほう素化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「ほう素及びその化合物」のデータを示した。

#### (4) 業種別の届出排出量・移動量

継続物質 276 物質のうち届出があった 263 物質を対象として集計した業種別の届出排出量・移動量の推移図 2 のとおりです。

図2. 業種別の届出排出量・移動量の推移

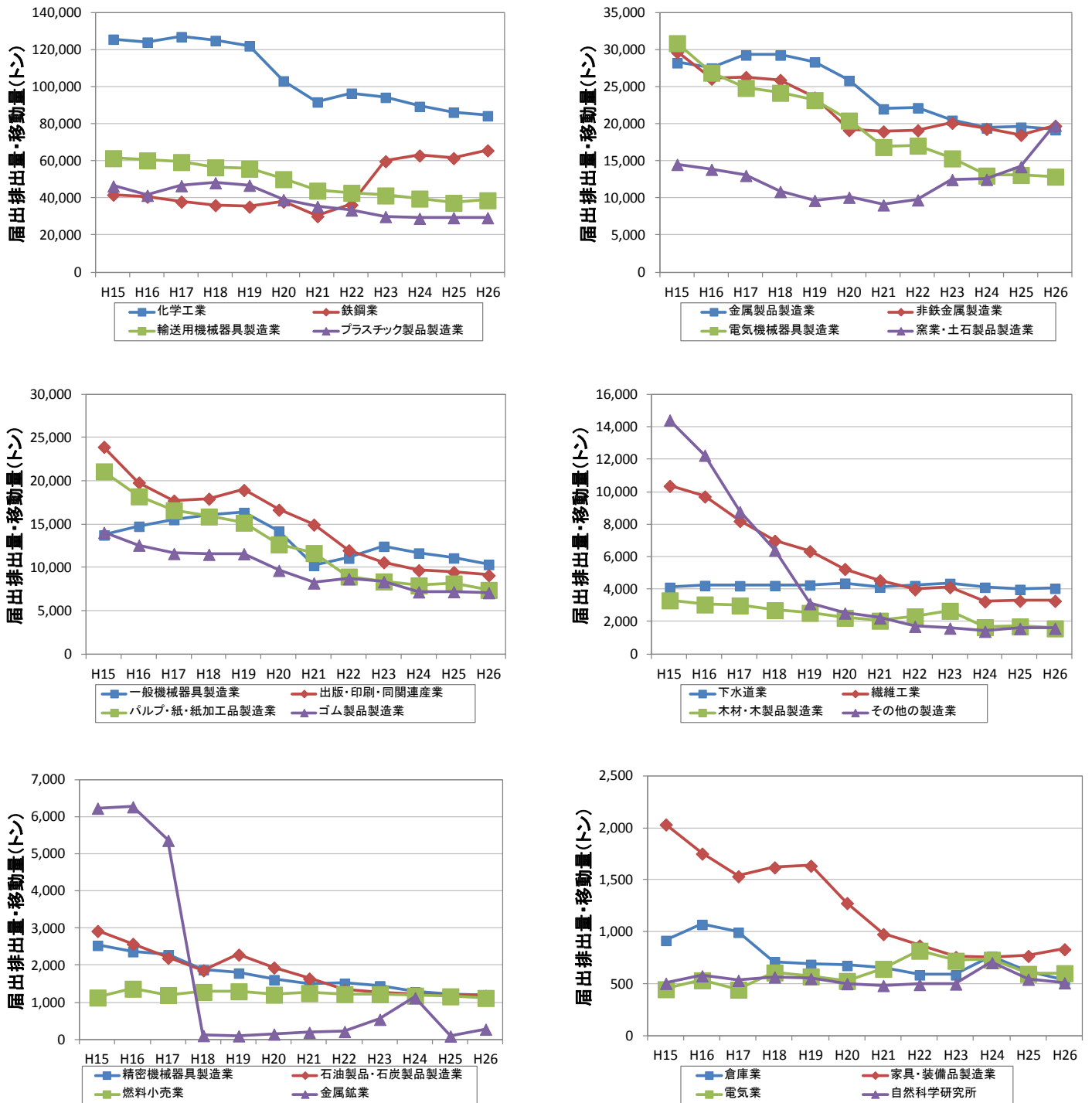
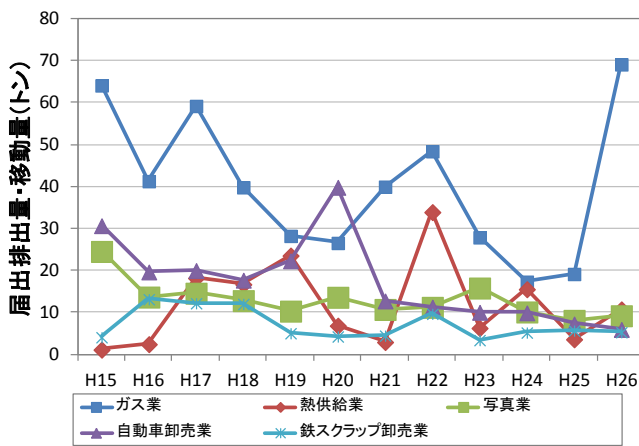
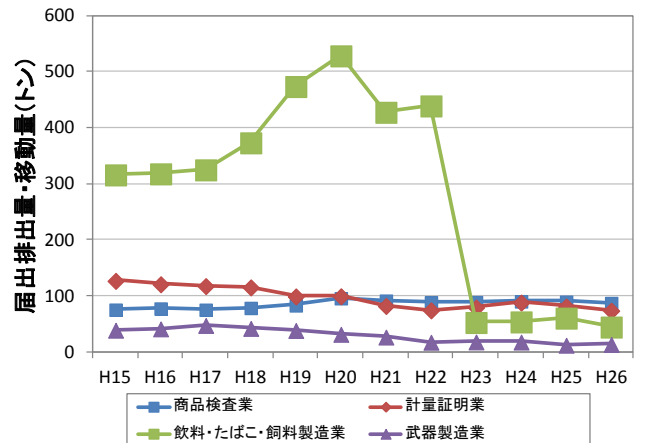
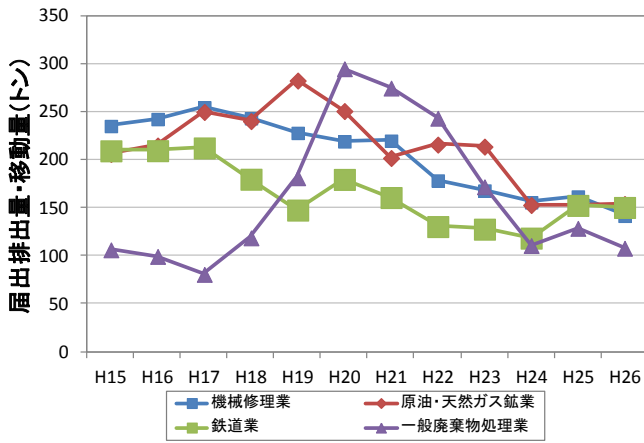
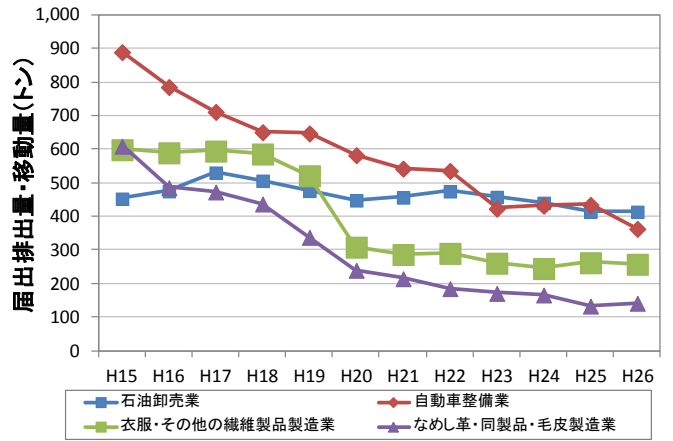
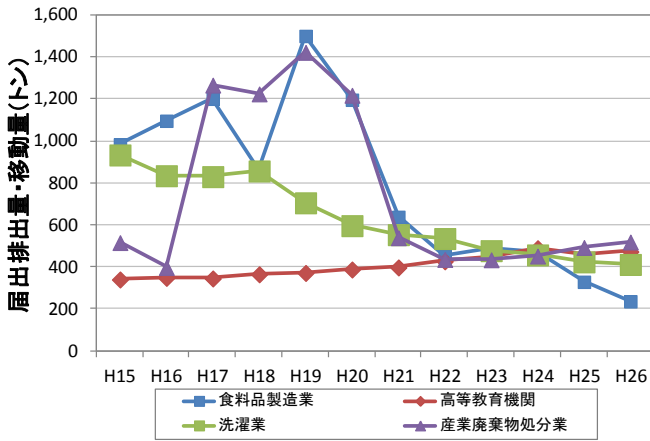




図2. 業種別の届出排出量・移動量の推移(続き)



(5) 特定第一種指定化学物質の排出量・移動量

特定第一種指定化学物質の物質別・排出先別の届出排出量・移動量は図3のとおりです。

平成22年度から、鉛化合物(物質番号:305)、1,3-ブタジエン(351)、2-ブロモプロパン(385)、ホルムアルデヒド(411)がそれまでの第一種指定化学物質から特定第一種指定化学物質に変更されており、平成13年度から平成21年度までのデータについては、第一種指定化学物質の要件である年間取扱量1トン以上の事業所による排出量等の届出のデータを使用しました。また、鉛化合物については、変更前の区分である「鉛及びその化合物」のデータを使用しました。

図3. 特定第一種指定化学物質の排出先別の届出排出量・移動量の推移  
石綿(物質番号:33) エチレンオキシド(56)

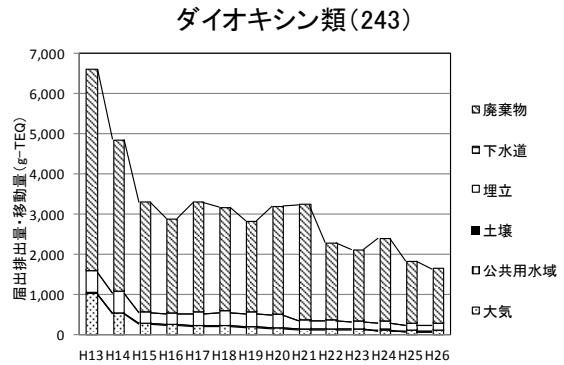
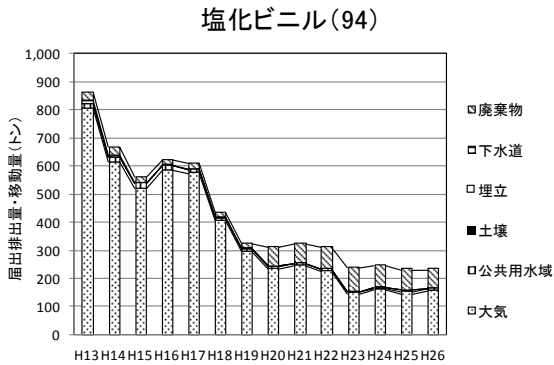
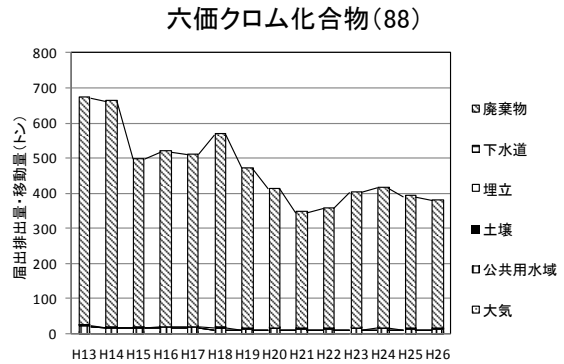
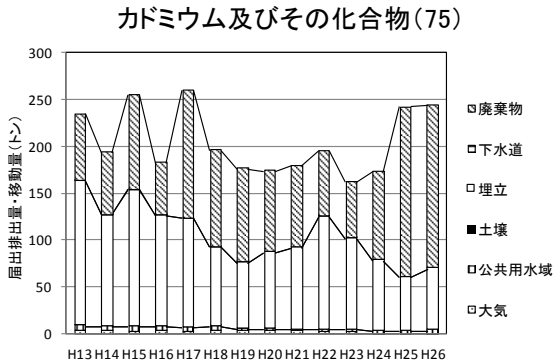
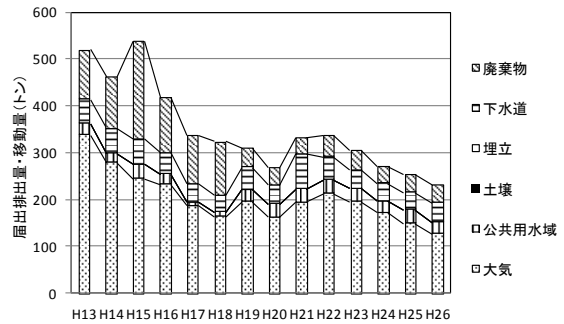
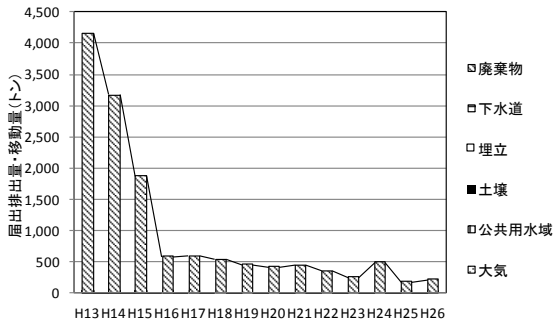
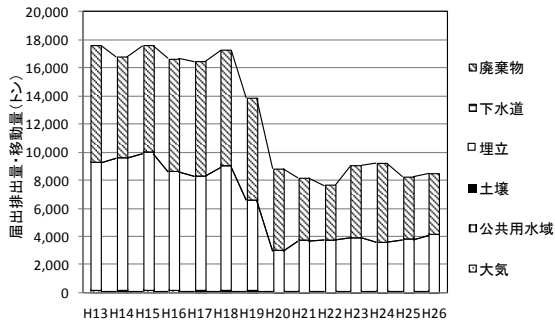
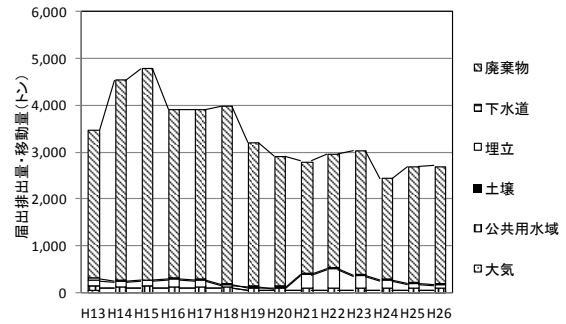


図3. 特定第一種指定化学物質の排出先別の届出排出量・移動量の推移(続き)

鉛化合物(305)

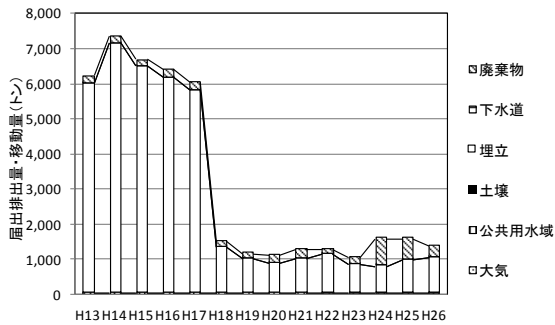


ニッケル化合物(309)

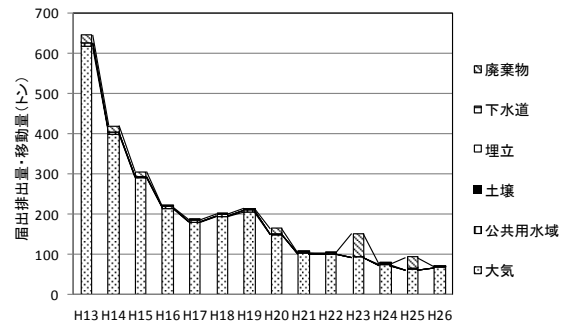


※平成13年度から平成21年度までの届出排出量・移動量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

砒素及びその無機化合物(332)

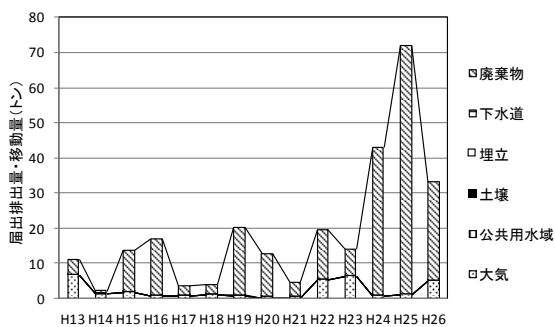


1,3-ブタジエン(351)

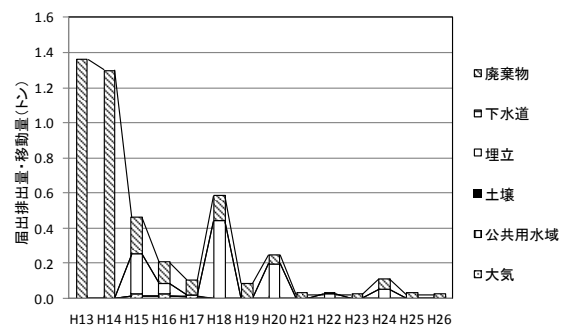


※平成21年度から特定第一種指定化学物質となったため、年間取扱量が0.5トン以上(平成21年度までは1トン以上)の事業所による排出量等の届出が平成22年度から開始。

2-ブロモプロパン(385)

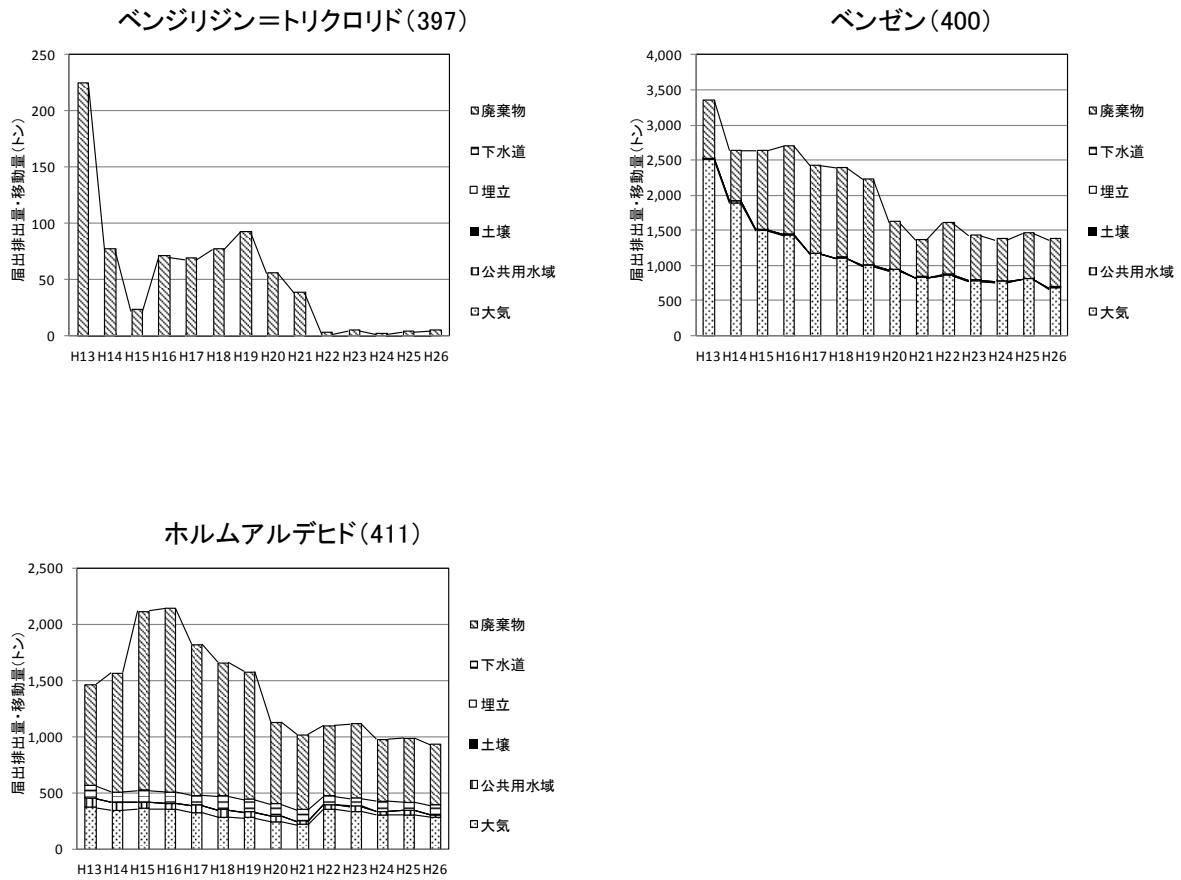


ベリリウム及びその化合物(394)



※平成21年度から特定第一種指定化学物質となったため、年間取扱量が0.5トン以上(平成21年度までは1トン以上)の事業所による排出量等の届出が平成22年度から開始。

図3. 特定第一種指定化学物質の排出先別の届出排出量・移動量の推移(続き)



※平成 21 年度から特定第一種指定化学物質となったため、年間取扱量が 0.5 トン以上(平成 21 年度までは 1 トン以上)の事業所による排出量等の届出が平成 22 年度から開始。